

プレスリリース
2020年7月21日

報道関係者 各位

バイオテック情報普及会

バイオテック情報普及会 第4回高校生科学教育大賞 授賞校決定のお知らせ

— 最優秀校は常総学院高等学校「高校生（スマート）農業を始めるまでの全記録」 —

バイオテック情報普及会は、持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献を念頭に、バイオテクノロジーの重要性をご理解いただくため、様々な活動を行っております。その一環として、これからを担う高校生の皆様に「植物バイオテクノロジー」と「持続可能な農業」についてより深く学び考えるきっかけとしてもらうことを目的とした「高校生科学教育大賞」を2017年に創設しました。支援対象となる科学教育活動を公募し、採択校にはその活動費用として1校につき最大100万円の支援を行っています。

第4回となる本年は、全国各地の高等学校から合計15件の応募を頂きました。小泉 望氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）、小島 正美氏（食生活ジャーナリストの会 代表）、高島 賢氏（農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 審査官）の外部委員及びバイオテック情報普及会 会員企業から成る選考委員会において、各校より提出された申請書類に基づき厳正な審査を重ねた結果、下記の高等学校を授賞校に選定し表彰するとともに、その活動を支援することを決定いたしました。

最優秀賞には、常総学院高等学校（茨城県土浦市）の「高校生（スマート）農業を始めるまでの全記録」が選ばれ、バイオテック情報普及会より活動支援金として申請金額の全額となる50万円が給付されます。農作業経験のない高校生が、ゼロから農業を始めようとするなどどのような疑問や課題が生じるのかを記録するという活動計画は、日本の農業が抱えている問題を明らかにするとともに、若者が農業を職業として選択してくれること、また持続可能な農業を実現するための社会貢献が期待できる点が高く評価され、最優秀賞の授賞に至りました。

また、優秀賞には大阪府立園芸高等学校（大阪府池田市）の「高校間連携による植物・微生物のDNA分析とバイオテックに関する生徒研究の地域推進」、山形県立置賜農業高等学校（山形県川西町）の「空気浄化スーパー植物『ニオイ木』の開発と普及に関する研究」が選ばれ、それぞれに申請金額の一部となる30万円が支援金として給付されます。

本件に関する問い合わせ先：
バイオテック情報普及会 事務局
電話：03-3525-4805
Email：secretariat@cbijapan.com

【バイテク情報普及会 第4回高校生科学教育大賞 授賞校一覧】

■最優秀賞（申請金額の全額となる50万円を支援）

常総学院高等学校（茨城県土浦市）

高校生（スマート）農業を始めるまでの全記録

選考理由: 今回の応募案件のなかで最も新規性のあるテーマであった。日本の農業が抱えている問題を明らかにするとともに、若者が農業を職業として選択してくれること、また持続可能な農業を実現するための社会貢献が期待できる。

■優秀賞（申請金額の一部となる30万円を支援）※順不同

学校名	活動名	選考理由
大阪府立園芸高等学校 (大阪府池田市)	高校間連携による植物・微生物のDNA分析とバイテクに関する生徒研究の地域推進	同地域の複数の高校と連携し、問題を共有するという新しい発想と独創性が評価された。バイテクに関する教育の地域拠点形成が期待できる。
山形県立置賜農業高等学校 (山形県川西町)	空気浄化スーパー植物「ニオイ木」の開発と普及に関する研究	研究テーマと扱う作物の面白さが目を引いた。産官学民連携など、社会貢献を視野に入れている点が期待される。

■審査員特別賞（申請金額の一部となる3万円を支援）※順不同

学校名	活動名
広島県立西条農業高等学校 (広島県東広島市)	アクアポニックスシステムを応用した持続可能な循環型食料生産モデルの確立
福島成蹊高等学校 (福島県福島市)	藻類を用いた新たな汚染水処理システムを考える ～放射性物質を回収する4つの藻類～
貞静学園中学校・高等学校 (東京都文京区)	フィールドにおけるナノポアシークエンサーを用いた植物病害の迅速な診断法の開発
広尾学園高等学校 (東京都港区)	シロイヌナズナのEFM遺伝子変異が花成遅延および乾燥耐性の向上に与える影響の解析
岐阜県立大垣西高等学校 (岐阜県大垣市)	岐阜県に生育するタンポポ属に関する形態および分子生物学的解析

詳細は右のウェブサイトをご覧ください。 <https://cbijapan.com/education/>

以上

※ バイテク情報普及会(英名: Council for Biotechnology Information Japan, CBI Japan)は、植物科学やバイテク作物の開発企業で構成する国際組織「クロップライフ・インターナショナル(本部ブリュッセル)」傘下の任意団体で、2001年10月1日に設立されました。本会は持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献を念頭に、サイエンスベースで透明性ある許認可システムの構築を支援するための活動や幅広いステークホルダーの皆様にはバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくための広報活動を行っています。

<https://cbijapan.com>

<バイテク情報普及会 会員会社>

シンジェンタジャパン株式会社、ダウ・アグロサイエンス日本株式会社、デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社、バイエル クロップサイエンス株式会社、BASF ジャパン株式会社